様式第２号（第８条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和８年度第１回加須市ゼロカーボンシティ推進協議会
開催日時	令和８年10月13日（火） 午後１時30分から午後２時35分まで
開催場所	加須市役所　５階　504会議室
議長氏名	浅野和生
出席委員	浅野和生、有賀健高、刑部香織、渡邊諭志、杉沢正子、吉田由季子、川﨑一卓、中山竜介、大谷真紀、佐野健太、越野晴秀、田端秀章、倉持和之、瀧本吉輝
欠席委員	谷川拓也、藤田直樹、若山敬、大和広明、秋本耀太
オブザーバー	田邊依里子（環境省関東地方環境事務所） 新井悠也【代理】（埼玉県環境部温暖化対策課）
会議次第	１　開　会 ２　委嘱状の交付 ３　会長あいさつ ４　市長あいさつ ５　議　事 （１）加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）について （２）KAZO環境フェスタ2027の開催について （３）令和８年度「ゼロカーボン川柳及びグリーンカーテンコンテスト」最終審査について ６　その他 ７　閉　会
会議資料の名称	【資料１】加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）の進行管理について 【資料２】KAZO環境フェスタ2027の開催について 【資料３】令和８年度「ゼロカーボン川柳及びグリーンカーテンコンテスト」最終審査について

会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	なし
説明者の職・氏名	環境安全部環境政策課主査　阿久津健介
事務局職員職・氏名	環境安全部副部長：鈴木崇 環境安全部環境政策課主査：阿久津健介 同課主任：田中将徳 同課主任：川﨑友紀子 騎西総合支所地域振興課課長：正能光 北川辺総合支所地域振興課課長：新井弘樹
会議録の作成方法	■　要点記録 □　全文記録
その他必要な事項	なし

様式第３号（第８条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局 （田中主任）	1　開　会
高橋市長	2　委嘱状の交付
浅野会長	3　会長あいさつ
高橋市長	4　市長あいさつ
浅野会長 （議長）	5　議事
事務局 （阿久津主査）	（1）加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）の進行管理について （資料１に基づき説明）
浅野会長	資料1の11ページ「自転車利用の促進」にある公用自転車の利用率は市役所が中心か。利用率は令和6年度が56.5％で令和7年度は47.8％と大幅に下がって「やや遅れている」という評価になっている。「自転車利用環境の整備」「観光レンタサイクル利用者数」も令和7年度に減少しているが、要因があるのか。
事務局 （阿久津主査）	公用自転車の利用率は、市役所職員の公用自転車の利用率である。総務課が職員に啓発しているが、利用率は下がってしまった。かぞ観光レンタサイクルについては、観光振興課が一般市民に向けて貸しているものである。利用者数が減少した要因は担当部署に確認しないとわからないため、改めて報告させていただく。
渡邊委員	資料１の３ページの「削減目標」について、2030 年度までに 46％削減とあるが、削減可能な数字なのか。それとも目標のため大きく掲げたということなのか。
事務局 （阿久津主査）	削減目標は、国・県の目標値に準じて設定したものである。資料１の５ページに記載のとおり、令和５年度に 21％削減となっている。基準年度から目標年度まで均等に削減されると仮定した場合だと、目標達成率は 6.1％不足している状況である。目標を達成できるか厳しい状況だが、達成に向け市民、事業者と一緒に取り組んでいければと考えている。
事務局 （阿久津主査）	（2）KAZO 環境フェスタ 2027 の開催について （資料２に基づき説明）
杉沢委員	くらしの会も参加して毎年「市民活動フェア」を実施している。3月に実施した際、集客を狙ってふだんキッチンカーのようなことをしている方に声をかけて出店してもらったが、大量のプラスチックごみが出た。出店者が両手に抱えきれない量のごみ袋を持って帰る様子を見て、考えさせられた。

	キッチンカーを呼ぶことは、人を集めるのにとてもいいし、賑わいも創出できるが、KAZO環境フェスタにキッチンカーを呼ぶ際に、参加業者に「何か環境問題について対応していることはありますか」といったアンケートをとると、例えば、「プラスチックではなく紙の容器にしよう」といった対応につながるのではないかと思う。
事務局 （阿久津主査）	キッチンカーの募集はこれから行う予定のため、何か環境にやさしい取組に関する要件を加えて募集するなど工夫してやっていきたい。
渡邊委員	キッチンカーには調理も伴うと思うが、熱源はどのようなものを使うのか。よくスーパーの駐車場で焼き鳥を販売している方が軽自動車の後部に熱源を積んでやっているが、それと同じような感じか。
事務局 （阿久津主査）	いろいろな形態があると思う。主な熱源としてはＬＰガスや電気を用いているようである。
事務局 （阿久津主査）	（3）令和8年度「ゼロカーボン川柳及びグリーンカーテンコンテスト」最終審査について （資料3に基づき説明）
浅野会長	川柳については、毎年応募数が増えていてよいかと思うが、グリーンカーテンの方は毎年減っているため、今後大丈夫か。それから、もともと川柳もグリーンカーテンコンテストも、それ自体が目的ではなく、「エコ」や「ゼロカーボン」に意識を持って行動を起こしてほしいということが趣旨だと思う。意識が高まり意味がわかって川柳を作ろうという機運であればよいが、ただ作ろうということだけだとあまり意味がない。KAZO環境フェスタにも関わってくるが、小学生とその保護者をターゲットにするということなら、例えば、教育委員会等と協議の上で、市立小学校の環境学習あるいは総合学習で、環境教育と川柳づくりをドッキングさせられれば、応募数も増えるだろうし、ただ作るのではなく、意義を持って作れるのではないか。 その際、グリーンカーテンも紹介し、「よかったらゴーヤの種をもって帰りませんか」という声掛けをセットですれば、グリーンカーテンをやってみるきっかけにもなり、意識啓発としても意義があるのではないか。 国の地球温暖化対策計画では、2050年度に「ネットゼロ」にするとしているが、46％の削減ができないのなら、ネットゼロを達成できるわけがない。行政としては「昨年度よりもうまくやれた」ではなく、目標に向けて近づけていくのなら、ぜひ教育委員会等に協力を仰いで、そういうことをやってもいいのではないか。 小学生の保護者に応募をお願いするのもいいし、中学生に川柳を作ってもらうのもいいと思う。せっかくの資源を有効に有機的に使ってもらえたらよいと思う。

事務局 （阿久津主査）	ご意見のとおり、単に作品を募集するだけでなく、こどもたちの環境教育や国語教育の一環として連携していくことは、こどもたちの意識をさらに深める上で重要と考えている。 近年、川柳の応募数が増え、大変ありがたく思っているが、今後、教育委員会や学校にご協力いただき、授業にからめて取り組むようなアプローチを、次年度以降の展開として検討、協議していければと考えている。
浅野会長	KAZO環境フェスタも、会場を良くして「来てください」ということだけでなく、例えば、文化祭のときにエコの部屋を置いてもらって、こちらから押し出すこともあっていいのではないかと思う。
事務局 （阿久津主査）	検討させていただく。
渡邊委員	今年、ゴーヤの苗を2本いただいた。無料でいただけるという話を聞いたのでいただいたが、コンテストがあるということは全く知らなかった。配布場所でも話がなかった。もう少しわかりやすいＰＲとか、周知方法を考えてもらえると、こういった取組もますます盛んになってくると思う。
事務局 （阿久津主査）	令和６年度から、５月８日を「ゴーヤの日」としてゴーヤ苗を配布している。人気があって行列ができることもあるが、コンテストに参加してもらえないことも多い。周知の方法を検討し、もう少し応募数が増えるように努力してまいりたい。
浅野会長	他にご意見、ご質問がないようなので、以上で議事を終了させていただく。
	6　その他
事務局 （阿久津主査）	任期満了に伴う委員の改選について、現行の委員の皆様は、11月６日をもって任期満了となる。次回の会議については、来年度の開催を予定しているため、任期満了のタイミングですぐに改選するのではなく、次回の開催時期が近づいたら、改めて就任のお願いと手続のご案内をさせていただきたい。
事務局 （田中主任）	7　閉会

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和　8年　11月　5日

署名　浅野和生